

## 調査審議に係る参考資料

(第1章 総説、第2章 基本的課題、第3章 基本方向)



## 【計画策定の意義】

本土復帰を果たしてから50年の節目を迎える。

復帰後、本県の4つの特殊事情に鑑みて、沖縄振興特別措置法に基づく各種特別措置が講じられ、社会資本の整備等により各分野における様々な格差が縮小されてきた。しかし、自立型経済の構築はなお道半ばにあり、一人当たり県民所得は全国最下位を脱しきれずにいる。

一方で、本県が有する地域特性である

- 我が国の南の玄関口に位置する地理的特性
- 南西端の広大な海域を確保する海洋島しょ性
- アジア諸国との交易・交流の中で培ってきた歴史的・文化的特性など

本県の潜在的な発展可能性



我が国全体の発展



国家戦略としても重要な意義

## 【計画期間】：10年間（令和4年度～令和13年度）

## 【計画目標】

社会・経済・環境の三つの側面が調和した「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」を目指すとともに、アジアをはじめ世界との経済の架け橋となるなど、「沖縄21世紀ビジョン」で掲げた5つの将来像の実現と4つの固有課題の解決を図り、自立的発展と住民が豊かさを実感できる社会の実現を本計画の目標とする。

# 沖縄21世紀ビジョン～時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い豊かな「美ら島」おきなわを創造する～

将来像 1  
沖縄らしい自然と歴史、伝統、  
文化を大切にする島

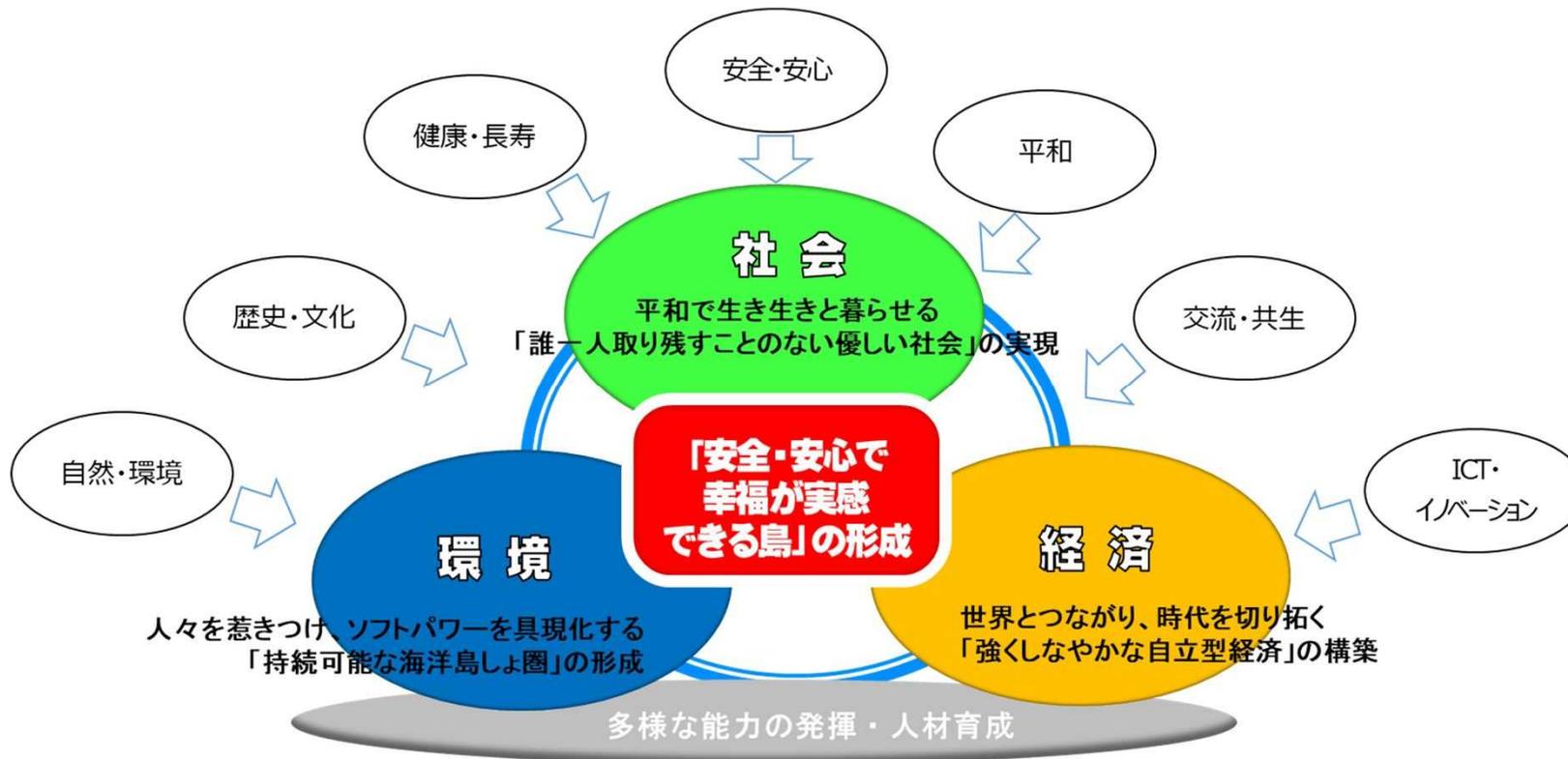
将来像 2  
心豊かで、安全・安心に暮らせる島

将来像 3  
希望と活力にあふれる豊かな島

将来像 4  
世界に開かれた交流と共生の島

将来像 5  
多様な能力を発揮し、未来を拓く島

## 施策展開の基本的指針 「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成



SDGs を掲げた2030アジェンダは、社会、経済及び環境の三つの側面を不可分のものとして調和させる統合的取組を目指している。

「沖縄21世紀ビジョン」の将来像とを連動させ、総合的な課題解決の視点とともに、将来像の実現に向けた施策を展開するため、社会・経済・環境の3つの枠組みを設定。

# 社会・経済・環境の統合的取組（展開イメージ）



# 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

## 【生かすべき特性】

- ・新技術の実証の場(テストベッド)に適している。  
(島全体で社会システムの実証・検証できる地域特性)

## 【課題】

- ・ 地理的制約等から水力発電等がなく、火力発電に依存。脱炭素社会に向け、沖縄全域でクリーンエネルギーの導入拡大が必要。
- ・ 我が国で唯一、鉄道を有せず、過度な車社会(県民・観光客)



## 環境立国をリード

世界に誇れる  
島しょ型環境モデル地域の形成

温室効果ガス排出量 ⇒ 30%減  
※2032年展望値(2013年度比)

エネルギーの低炭素化	低炭素社会に向けた交通体系	気候変動への適応
<p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 再生可能エネルギー等のクリーンなエネルギーの導入促進</li> <li>(2) 革新的技術(水素利用等)の導入拡大に向けたモデル事業の実施・誘致</li> </ul>	<p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自家用車・路線バス等への電気自動車等の次世代自動車の普及促進</li> <li>(2) 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入</li> </ul>	<p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) サンゴ礁等の保全・再生</li> <li>(2) 赤土等の流出防止対策</li> <li>(3) 官民連携した緑化の推進</li> </ul>
<p>【施策を推進する制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 再生可能エネルギー活用設備の導入促進に対する財政特例と税制優遇</li> <li>(2) クリーンエネルギー導入拡大に資する技術開発に対する財政特例 等</li> </ul>	<p>【施策を推進する制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 電気自動車及び建物充放電設備の導入促進に対する財政特例</li> <li>(2) 全国新幹線鉄道法を参考とした「公設民営型上下分離方式」の創設 等</li> </ul>	<p>【施策を推進する制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然環境の保全・再生に係る取組に対する財政特例</li> <li>(2) 赤土流出対策等に係る財政特例</li> <li>(3) 民間企業のSDGsの取組を促進する税制優遇措置及び政策金融 等</li> </ul>

# 海洋立国に向けたブルーエコノミーの展開と海洋保全の起点となる離島振興

## 【生かすべき特性】

- ・ 広大な海域を有する海洋島しょ圏  
(海洋環境の利活用の可能性)

## 【課題】

- ・ 東京から約1,600km離れ、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に多数の離島が点在する遠隔性、散在性、狭小性等の条件不利性を抱える。
- ・ 有人離島としての存続が危ぶまれる島外への人口流出。

海洋立国の展開 広大な海域の保全に寄与

ブルーエコノミーの展開  
離島における安全・安心の確保と  
魅力ある生活環境の創出

離島の定住条件の確保 ⇒ 離島人口の維持

## ブルーエコノミーの新たな展開

### 【主な施策】

- (1) 海洋環境の利活用  
(海洋調査・開発、海洋再生可能エネルギーの推進等)
- (2) 海洋問題への対応(海岸漂着物対策等)

### 【施策を推進する制度】

- (1) 海洋再生可能エネルギー導入に対する財政特例と税制優遇
- (2) 海岸漂着物の回収及び処理等に対する財政特例

等

## IT基盤整備・活用

### 【主な施策】

- (1) 情報通信基盤の整備
- (2) 遠隔医療の推進
- (3) オンライン教育の推進
- (4) テレワーク、ワーケーション等の推進

### 【施策を推進する制度】

- (1) 離島・へき地の情報通信基盤の整備に対する財政特例
- (2) 離島・へき地における遠隔医療の推進に対する財政特例

等

## 定住条件の整備

### 【主な施策】

- (1) 離島を結び、支えるシームレスな交通体系の整備と離島住民の交通負担の軽減
- (2) 基幹産業である農林水産業の更なる振興
- (3) 水道広域化の推進
- (4) 地域完結型の医療提供体制の構築 等

### 【施策を推進する制度】

- (1) 離島住民等の交通コスト低減、離島航路・航空路運航事業者の安定運営に対する財政特例
- (2) 農林水産物の輸送コスト低減、製糖事業者の経営基盤強化、域内循環創出に係る財政特例
- (3) 水道広域化の推進と水道事業の運営基盤の強化に向けた財政特例
- (4) 離島・へき地の公立病院・診療所に係る施設・設備の整備と運営に対する支援、無医地区における医療の確保 等

# 世界に誇れる自然環境や歴史的風土等のソフトパワーの具現化

## 【生かすべき特性】

- ・ 世界自然遺産等の豊かな自然環境、
- ・ 空手など沖縄独自の文化 などの魅力あるソフトパワー

## 【課題】

- ・ 自然環境や住民生活との調和した観光
- ・ 災害や感染症等の観光リスクに適応したニューノーマルへの対応
- ・ 低い一人当たり観光客の消費単価や滞在日数

観光立国をリード 我が国の南の玄関口

世界に選ばれる持続可能な観光地の形成  
と沖縄観光の変革

県内総生産 ⇒ 高い経済成長

## 持続可能な観光地の形成

### 【主な施策】

- (1) 「新たな生活様式/ニューノーマル」に対応した安全・安心で快適な観光
- (2) サステナブル・ツーリズム

### 【施策を推進する制度】

- (1) 観光関連事業者の感染症拡大を防止する取組に対する財政特例
- (2) 港湾・空港のCIQ体制の強化

等

## 観光の量だけではなく質の向上

### 【主な施策】

- (1) 高次元のニーズに対応した質の高い観光の推進  
(高付加価値化、観光ブランド力の強化)
- (2) 観光消費額の向上に資する新たな拠点の形成

### 【施策を推進する制度】

- (1) クルーズ・スーパーヨット港湾整備に対する財政特例
- (2) 観光地の形成を促進する税制優遇

等

## ソフトパワーの強化

### 【主な施策】

- (1) 首里杜地区の歴史まちづくりの推進  
(首里城正殿復元、中城御殿等)
- (2) 「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
- (3) スポーツアイランドの形成

### 【施策を推進する制度】

- (1) 首里城復興の整備に対する財政特例
- (2) 沖縄空手の保存、継承等の取組に対する財政特例
- (3) スポーツコンベンションの推進等に対する財政特例

等

( 参 考 )

# **新沖縄発展戦略**

## **新たな振興計画に向けた提言（概要）**

**令和2年3月**

**新沖縄発展戦略有識者チーム**

# 新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言

## 第1章 新たな沖縄振興計画の意義・背景

### 【はじめに】

- 人口が減少に転じた日本経済は、国内市場に依存しては縮小を余儀なくされ、成長著しいアジアをはじめ海外に市場を求めて展開せざるを得ない状況であり、もはや経済、社会の枠組みが「アジア規模」でなければ成り立たなくなっている。
- 沖縄21世紀ビジョンにおいて沖縄は「アジアの十字路」として位置づけられ、これまでの国の振興計画にとって代わった沖縄振興基本方針（平成24年5月11日 内閣総理大臣決定）でも「人口減少社会の到来等我が国を取り巻く社会経済情勢が変化する中、沖縄はアジア・太平洋地域への玄関口として大きな潜在力を秘めており、日本に広がるフロンティアの一つとなっている。沖縄の持つ潜在力を存分に引き出すことが、日本再生の原動力にもなり得るものと考えられる」という文言が記されている。
- 日本をはじめ世界で大発生し、パンデミックになった新型コロナウイルス感染症の県経済に及ぼす影響も甚大であり、収束しても直ちに県経済が回復するわけではない。当初の前提が壊れており、新たな振興計画も回復のための中長期的な政策が必要となる。世界経済の動向を見回しつつ、経済回復の施策を盛り込みつつ、新たな振興計画を策定しなければならない。

### 【新沖縄発展戦略の目的】

時代変化を踏まえ、重要な施策事項を抽出し、これらを新たな振興計画の検討に向けて申し送りする。  
本提言の申し送り事項を、沖縄振興計画の総点検と融合させ、新たな振興計画のグランドデザイン策定に資する。

### 【沖縄の発展可能性】

- ①パラダイムシフト
- ②フロンティア
- ③発展可能性
- ④アジアの橋頭堡
- ⑤ソフトパワー

### 【沖縄の特殊事情】

- ①沖縄が26年あまりにわたり我が国の施政権の外にあった「歴史的事情」
- ②広大な海域に多数の島が存在し本土から遠隔にある「地理的事情」
- ③我が国でも希な亜熱帯地域にあること等の「自然的事情」
- ④米軍施設・区域が集中しているなどの「社会的事情」

### 【新たな沖縄振興計画の必要性】

- 沖縄は高い潜在力を有しており、それが顕在化すれば、日本経済の再生に寄与することができる。
- 沖縄の特殊事情は、とりわけ、米軍基地の過重な負担の面では、未だ改善が見られない。県民の安全安心な生活のために、引き続き重点的な対応が必要である。
- 沖縄振興特別措置法に「沖縄の置かれた特殊な諸事情に鑑み、沖縄の自主性を尊重しつつその総合的かつ計画的な振興を図り、もって沖縄の自立的発展に資するとともに、沖縄の豊かな住民生活の実現に寄与することを目的とする。」と記されているが、その目的は道半ばであり、新たな沖縄振興計画が必要である。

# 新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言

## 第2章 新たな沖縄振興計画が目指すべき基本方向

### 【基本的課題】

#### ア 基底の課題

- ①技術進歩の課題
- ②経済パフォーマンスの課題

#### イ 直面する課題

- ①子どもの貧困
- ②労働力不足
- ③交通渋滞
- ④人口問題

### 【地域特性】

#### ア 歴史性(価値観の変遷)

#### イ 島嶼性

- ①規模の不経済性
- ②資源の狭隘性
- ③市場の狭小性
- ④慢性的な対外収支の赤字
- ⑤高い財政依存度
- ⑥モノカルチャー的構造

#### ウ 亜熱帯性

「技術開発の宝庫」

### 【時代潮流】

#### ア SDGsの展開

人間、地球、繁栄、平和、パートナーシップ  
(ア)パラダイムシフト  
(イ)ESGの展開

#### イ 格差の進行

#### ウ IT技術の進化

(ア)データ資本主義  
(イ)第4次産業革命  
(ウ)未来社会

- ・デジタル空間での経済圏
- ・変わる人間の役割
- ・デジタル技術が人々の生活時間を変える
- ・幸福(welfare)の再定義
- ・未来社会の課題

#### (エ)人間中心のIT

- ・人間の尊厳が尊重される社会(Dignity)
- ・多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会(Diversity & Inclusion)
- ・持続性ある社会(Sustainability)

#### エ アジア経済の動向

### 【基本的指針】

- (1)自然・文化
- (2)格差・貧困の解消  
誰一人取り残さない社会
- (3)交流・ネットワーク
- (4)貢献
- (5)危機管理

### 【県土の方向性】

#### (1)基本方向

- ①県土の均衡ある発展や持続可能な社会の構築
  - ・土地利用と都市政策
  - ・持続可能な都市
- ②対流型県土構造に向けたネットワークの強化
- ③離島地域への展開
- ④災害に強い県土づくり
- ⑤領土・領海の国土保全

#### (2)圏域・地域別の基本的方向

北部圏域 中南部圏域  
宮古圏域 八重山圏域  
沖縄本島周辺離島

# 新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言

## 第3章 新たな沖縄振興計画に必要な重要事項

### 【克服すべき沖縄の固有課題】

これまで5次、48年間にわたって展開されてきたが、克服すべき固有課題は依然として存在する。引き続き、新たな振興計画においても、その克服が課題となる。

- ア 米軍基地の偏在
- イ 島嶼社会の条件不利性
- ウ 自治の拡大

### 【新たな施策展開に係る枠組みと重要事項】

- I アジアのダイナミズムを取り込む臨空・臨港都市の形成と県土構造の再編
- II 日本経済再生のフロントランナー
- III ソフトパワーを生かした持続可能な発展
  - ・文化の産業化
  - ・ソフトパワー
- IV 誰一人取り残すことのない社会の構築と未来を拓く人材育成
  - ・人材育成
  - ・人間力の涵養

I	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界水準の拠点空港化</li> <li>2 港湾機能の強化</li> <li>3 シームレスな陸上交通体系の整備</li> <li>4 鉄軌道の導入</li> <li>5 駐留軍用地の跡地利用</li> <li>6 東海岸サンライズベルトの発展戦略</li> </ol>
II	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 フロンティアの形成と海外展開の加速</li> <li>2 新技術・イノベーションへの対応</li> <li>3 ビジネスの実験場、規制緩和</li> <li>4 スタートアップの促進</li> <li>5 人手不足への対応(労働力の確保)</li> <li>6 人口減少対策</li> </ol>
III	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光産業の多様化と高付加価値化</li> <li>2 国際的なクルーズ拠点の形成</li> <li>3 海洋政策、ブルーエコノミー</li> <li>4 自然環境・生物多様性の国際拠点形成</li> <li>5 世界に誇れる環境モデル地域の形成</li> <li>6 首里城の復元・復興</li> </ol>
IV	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 離島・過疎地の振興</li> <li>2 子どもの貧困対策</li> <li>3 人材育成の促進</li> </ol>

## 新沖縄発展戦略の変更点(申し送り事項)

18の申し送り事項  
(平成30年9月)

- ① 世界水準の拠点空港化
- ② 港湾機能の強化
- ③ 鉄軌道の導入
- ④ 駐留軍用地の跡地利用
- ⑤ 観光産業の多様化と高付加価値化
- ⑥ 国際的なクルーズ拠点の形成
- ⑦ 東海岸サンライズベルトの発展戦略
- ⑧ 自然環境・生物多様性研究の国際拠点形成
- ⑨ 海洋資源の開発拠点形成
- ⑩ フロンティアの形成と海外展開の加速
- ⑪ 新技術・イノベーションへの対応
- ⑫ 沖縄らしい低炭素社会の形成
- ⑬ ビジネスの実験場
- ⑭ 人口減少対策
- ⑮ 離島・過疎地の振興
- ⑯ 人手不足への対応
- ⑰ 子どもの貧困対策
- ⑱ 人材育成の促進

※赤字は追加事項  
※緑色は名称変更

4つの枠組み 21の申し送り事項  
(令和2年3月)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 世界水準の拠点空港化               |
| 2 | 港湾機能の強化                  |
| 3 | シームレスな陸上交通体系の整備 (交通渋滞対策) |
| 4 | 鉄軌道の導入                   |
| 5 | 駐留軍用地の跡地利用               |
| 6 | 東海岸サンライズベルトの発展戦略         |
| 1 | フロンティアの形成と海外展開の加速        |
| 2 | 新技術・イノベーションへの対応          |
| 3 | ビジネスの実験場、規制緩和            |
| 4 | スタートアップの促進               |
| 5 | 人手不足への対応 (労働力の確保)        |
| 6 | 人口減少対策                   |
| 1 | 観光産業の多様化と高付加価値化          |
| 2 | 国際的なクルーズ拠点の形成            |
| 3 | 海洋政策、ブルーエコノミー            |
| 4 | 自然環境・生物多様性の国際拠点形成        |
| 5 | 世界に誇れる環境モデル地域の形成         |
| 6 | 首里城の復元・復興                |
| 1 | 離島・過疎地の振興                |
| 2 | 子どもの貧困対策                 |
| 3 | 人材育成の促進                  |

# 新たな施策展開に係る枠組みと重要事項

## 時代潮流

SDGs

格差の進行

IT技術の進化

アジアの経済成長

## I アジアのダイナミズムを取り込む臨空・臨港都市の形成と 県土構造の再編

- ①世界水準の拠点空港化
- ②港湾機能の強化
- ③シームレスな交通体系の整備（交通渋滞対策）
- ④鉄軌道の導入
- ⑤駐留軍用地の跡地利用
- ⑥東海岸サンライズベルトの発展戦略

## IV 誰一人取り残すことのない社会の構築と 未来を拓く人材育成

- ①離島・過疎地の振興
- ②子どもの貧困対策
- ③人材育成の促進

## II 日本経済再生のフロントランナー

- ①フロンティアの形成と海外展開の加速
- ②新技術・イノベーションへの対応
- ③ビジネスの実験場、規制緩和
- ④スタートアップの促進
- ⑤人手不足への対応（労働力の確保）
- ⑥人口減少対策

## III ソフトパワーを生かした持続可能な発展

- ①観光産業の多様化と高付加価値化
- ②国際的なクルーズ拠点の形成
- ③海洋政策、ブルーエコノミー
- ④自然環境・生物多様性の国際拠点形成
- ⑤世界に誇れる環境モデル地域の形成
- ⑥首里城の復元・復興

# 新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言の申し送り事項 主なポイント

アジアのダイナミズムを取り込む臨空臨港都市の形成と県土構造の再編

- 1 **世界水準の拠点空港化**
  - ・臨空・臨港都市としての設計
  - ・インフラ整備
  - ・高度な危機管理体制の構築
- 2 **港湾機能の強化**
  - ・那覇港における港湾機能の拡張性と国際物流拠点の整備
  - ・那覇港と中城湾港の有機的連携強化
- 3 **シームレスな陸上交通体系の整備（交通渋滞対策）**
  - ・過度な自動車保有・利用からの転換
  - ・段階的かつ多様な交通システムの導入
- 4 **鉄軌道の導入**
  - ・沖縄県における鉄軌道の導入の目的
  - ・鉄軌道の導入と駐留軍用地の跡地利用
- 5 **駐留軍用地の跡地利用**
  - ・駐留軍用地跡地の発展可能性と県土構造の再編
  - ・価値創造型のまちづくりと大規模公園の整備
- 6 **東海岸サンライズベルトの発展戦略**
  - ・大型MICE施設等を核とした東海岸地域の活性化
  - ・東海岸地域の円滑な交通ネットワークの形成

誰一人取り残さない社会の構築と未来を拓く人材育成

- 1 **離島・過疎地の振興**
  - ・離島・過疎地域の定住条件の整備
  - ・情報通信基盤の強化とICTの活用
- 2 **子どもの貧困対策**
  - ・子どもの貧困の根絶に向けた取組の強化
  - ・「格差」を解消する公教育の充実
- 3 **人材育成の促進**
  - ・人間力の育成と切磋琢磨する教育
  - ・グローバル人材の育成

日本経済再生のフロントランナー

- 1 **フロンティアの形成と海外展開の加速**
  - ・アジア市場に展開する新たな産業の集積
- 2 **新技術・イノベーションへの対応**
  - ・AI、IoTを活用した生産性の向上、社会システムの構築
- 3 **ビジネスの実験場、規制緩和**
  - ・新技術の実用化研究や新ビジネスモデルの実証
- 4 **スタートアップの促進**
  - ・沖縄の優位性・特性を活かしたスタートアップ企業の創出
- 5 **人手不足への対応（労働力の確保）**
  - ・外国人労働力調整センターの設置
  - ・多様な働き方の推進
- 6 **人口減少対策**
  - ・人口減少と経済構造変化への対応

ソフトパワーを生かした持続可能な発展

- 1 **観光産業の多様化と高付加価値化**
  - ・世界の観光需要への対応
  - ・持続可能な観光政策の推進
- 2 **国際的なクルーズ拠点の形成**
  - ・観光管理の視点に立った良質なクルーズ観光の推進
  - ・検疫・防疫体制とセキュリティ対策の強化
- 3 **海洋政策、ブルーエコノミー**
  - ・ブルーエコノミーの推進
  - ・海洋政策センターの設置
- 4 **自然環境・生物多様性の国際拠点形成**
  - ・世界自然遺産、希少動植物保護
- 5 **世界に誇れる環境モデル地域の形成**
  - ・脱プラスチック社会への変革
- 6 **首里城の復元・復興**
  - ・琉球文化のルネサンス